



建築物総合環境計画概要書 新築

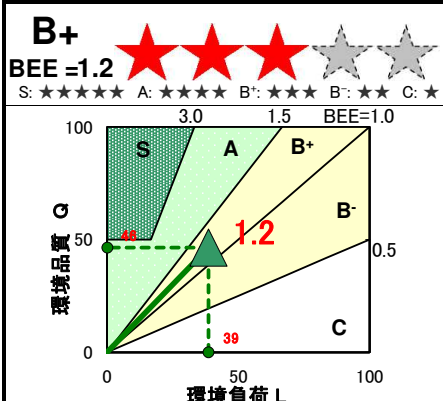
■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

1-1 建物概要

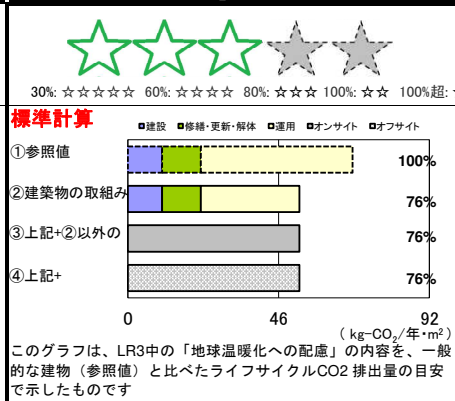
建物名称	(仮称)森ノ宮医療大学総合リハビリ学部棟 新築計画		
建設地	住之江区南港北1丁目		
建築用途	大学		
建築主			
設計者			
敷地面積	8,311.42	m ²	
建築面積	1,157.55	m ²	
延床面積	5,557.38	m ²	
構造/階数	S造	/	地上5階
完了年(予定)	2024年2月		

1-2 外観

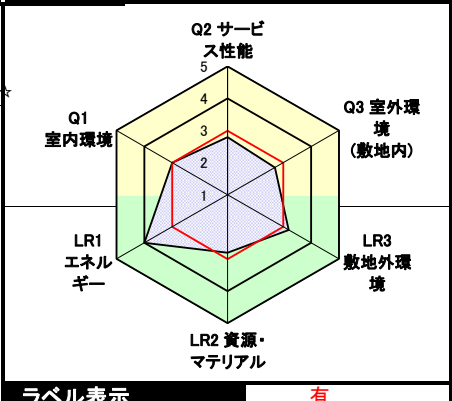
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



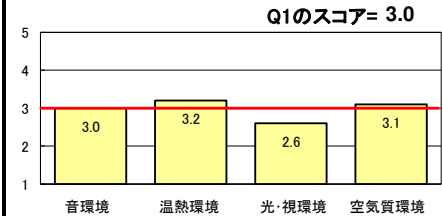
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



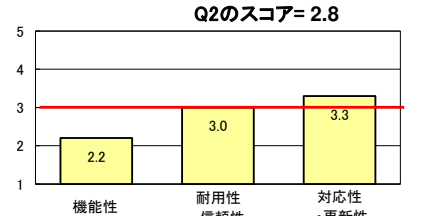
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

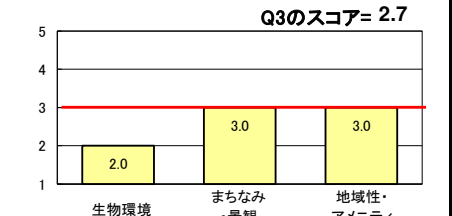
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

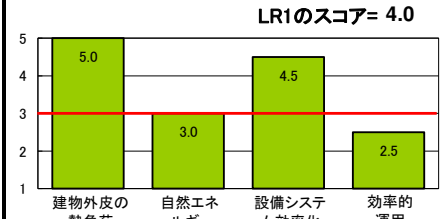


Q3 室外環境 (敷地内)

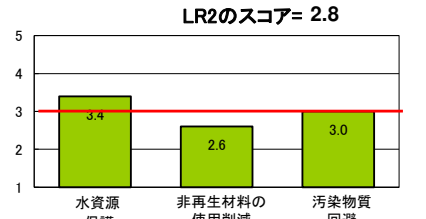


LR 環境負荷低減性

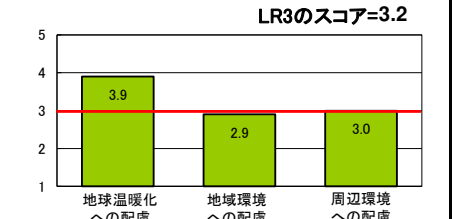
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

一次エネルギー消費量を抑え、高水準な省エネ建築物になるよう配慮している。

その他

特になし

Q1 室内環境

Low-Eガラスを使用し、外皮性能を上げる配慮をしている。

Q2 サービス性能

空調・給排水の配管に劣化しにくい材質を使用し、更新必要間隔が長くなるよう配慮している。

Q3 室外環境 (敷地内)

特になし

LR1 エネルギー

建築設備の大部分を占める空調設備の一次エネルギー消費量を抑え、省エネルギーになるよう配慮している。

LR2 資源・マテリアル

節水型便器の採用や自動水栓の設置により、水資源の保護に配慮している。

LR3 敷地外環境

建築設備の省エネ化に配慮することにより、運用時のエネルギーに係るCO₂排出量を抑えるよう設計している。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.2

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.9 ライフサイクルCO2排出率＝76%
配慮事項	一次エネルギー消費量を抑えることにより、ライフサイクルCO2排出率が下がるよう配慮している。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	3.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0 特になし
Q3 / 3 / 3.2/	敷地内温熱環境の向上 3.0 特になし
LR3/ 2 / 2.2/	温熱環境悪化の改善 3.0 特になし
配慮事項	標準的な設計をしている。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 5.0 Low-Eガラスを使用
配慮事項	Low-Eガラスの使用や、断熱材の仕様を手厚くし、建物の熱負荷抑制に配慮している。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	5.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 4.5 効率のよい空調機の採用
配慮事項	設備全体の大きな割合を占める空調設備において、効率の良い機器を採用することにより、BEIを下げるよう配慮している。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること）

外皮性能 住宅部分（品確法等級） 非住宅部分[BEI][BEIm]
 - (相当) 0.68

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEIm] 住宅部分[BEI] 非住宅部分[BEI][BEIm]
 0.65 - 0.65